



ミドルリーダーの挑戦  
—前へ! 前へ!!

# 職務が増えても効率よく取り組み 生徒との時間を一番大切にする

東京都文京区立音羽中学校 稲田 剛 41 歳



Middle Leader

あきた・たけし◎教職歴13年目。北区立北中学校（現・桐ヶ丘中学校）に勤務後、文京区立第七中学校に赴任。2009年に同校と第五中学校が統合して開校した音羽中学校に継続して勤務。担当教科は社会科。学年主任。校務分掌は進路学習

これまで私が歩いてきた道のり

**他人に任せず  
1人で突っ走り  
学年団に不協和音が**

教師になって5年目に、初めて学年主任になりました。1年生で担任をした学年で、持ち上がった2年生で主任を任されたのです。その年は都の教育研究員を務めることにもなっていたのですが、重要な仕事を任されたのだから、その期待にしっかりと応えなければと思いました。朝は早く学校に来て、夜は誰よりも遅く帰る。睡眠時間を削って、がむしゃらに頑張りました。

当時の私の学年主任としての姿勢

は、自分が先頭を走るので付いてきてくださいというものでした。学年行事の内容を決める時も、最終的には自分の考えている案でいきたいという思いから、反対意見が出ないように進めました。必要な作業にしても、ある程度まで私がやってから、先生方に渡して完成させてもらうようにしていたのです。

しかし、今思えば当然ですが、先生方には不満が募っていききました。一方の私も、他学年の先生に「学年の先生が動いてくれない」などと愚痴をこぼしていました。双方がそういう態度です。学年団の雰囲気は悪くなる一方です。更に、そうし

た教師の不協和音は、生徒にも伝わります。私が不満に思う先生への態度を、生徒は敏感に察知し、いつしか、その先生の話を聞かなくなっていたのです。

いつも仕事をたくさん抱えて余裕がなく、一番大切にしていたはずの生徒と接する時間も大幅に減っていました。自分で何でもやるうとしていたことが、全ての悪循環の原因になっていました。

**仕事の優先順位を付け  
学年で分担し  
生徒と接する時間を確保**

このままではだめだ……私は気付いたことから仕事の仕方を変えていきました。まず、学年会で話し合い、役割分担とスケジュールを明確にした上で、先生方に最初から仕事をしてもらうようにしました。

仕事の優先順位をきちんと付けるようにもしました。活用しているのは週案です。週末に翌週の授業内容と行事などと共に、すべき作業を書き出します。作業の期限を考慮して、いつ何をするか見通しを立てておくのです。仕事を効率よく進め、時間も心も余裕を持って生徒と接するよ

うにするためにも重要でした。態度も改めました。学年団は1つのチームです。仲間の陰口をこぼすのは、チームの信頼を裏切ることになります。いろいろな価値観を持ち、

## 今、私が踏み出そうとしている新たな一歩

### いろいろな人生に 触れさせて 折れない心を育てたい

2012年度は、本校で2回目の1学年主任を務めています。学年主任として力を入れていることの1つは、キャリア教育の体系化です。前回3年間持ち上がった時は、各活動が単発になっていました。その反省もあり、今回は、生徒が5年後、10年後、社会に出る時に必要となる力は何かを大学、高校と逆算して考え、中学校ではどのような力を育てていけばよいのか、私自身、答えを探しながら活動をしています。

現在、私が目指しているのは、生徒の中に折れない心を育てることです。生徒と話していると、「良い高校、良い大学に入り、有名企業に就職し

仕事の仕方もさまざまですが、尊敬の念を持って一緒に仕事をするのと。社会人としてそんな当たり前のことも、自分の失敗を経て、やっと出来るようになりました。

ないと駄目だ」という価値観があまりにも強いと感じます。そう思えば思うほど、そうではない他者を認められませんが、自分がその通りに行かなかった時には、自分をも認められなくなってしまう。

実は、私は大学卒業後、一般企業に就職したのですが、肌合わずに退職。その後、劇団の養成所に入ったのですが、生計が成り立たず、通信教育で免許を取得して29歳で教員になりました。そんな私自身の経験もあり、生徒にはさまざまな生き方があり、そのどれもが素晴らしいことをもって知ってほしいのです。

生徒に話を聞かせたいと思う著名人の講演会を開いたり、「文京寺子屋」として社会人を6人ほど招いて仕事の話をしてもらったりしました。次年度以降も、講演会や職業体験など

を開く予定です。そして、卒業時に、生徒一人ひとりが3年間で心に残った人にお礼の手紙を書く取り組みをしようと考えています。自分は家族や友だち、先生を始め、多くの人に支えられていると実感できたら、つらい時にもくじけない心が育まれるのではないかと考えています。

もちろん、社会で求められる力として学力向上も重要です。今年は新課程全面実施の初年度ということもあり、授業改善に着手しました。今まで自分で作った教材を新課程に合わせて手直ししたり、音読を取り入れたりしています。

もちろん、社会で求められる力として学力向上も重要です。今年も新

挑戦したいことはたくさんありますが、それに埋没して生徒との時間が減ることだけはないよう、優先順位を付けながら、日々生徒と向き合っていきたいと思っています。

## 連絡事項は必ず文書に

### 穂田先生の取り組み

◎学年会のレジュメ、行事進行表、実施要綱などを詳細に記した書類を作成し、学年会で共通理解を図るようにしています。「細かすぎるのでは」と言われたこともありますが、口頭だけでは生徒への指示が統一できず、進行が途切れてしまうことがあったので、必ず作るようにしています。



職場訪問を行った際には、①全体の実施要綱、②事前・事後学習を含めた学習計画表、③職場訪問当日の流れと注意事項の3つの書類を作成し、周知した。